

平成23年度活動報告書

会 員 名	福井県 坂井市		
活 動 名	北前船「みちのく丸」 福井港(三国港)寄港事業(坂井市合併5周年記念イベント)		
主 催 者	北前船交流三國湊実行委員会(事務局:坂井市総務課、企画情報課)		
報 告 者	所属	坂井市総務部企画情報課	TEL 0776-50-3013(直通)
	氏名	主査 木下 幹雄	E-mai kikaku@city.fukui-sakai.lg.jp
協議会以外の共催・後援等	福井港振興協議会		
実 施 時 期	平成23年8月5日(金)		
実 施 規 模	約5,400人(ほかイベントスタッフ100人)		
実施事業費	2,405,290円		
実 施 概 要	活 動 全 般		
	北前船「みちのく丸」の坂井市・三国港寄港を市民の手で盛り上げるため、坂井市をはじめ関係機関、坂井市三国町内の民間団体にて構成する、北前船交流三國湊実行委員会を立ち上げ歓迎イベントを展開した		
	<イベント内容>		
	○歓迎セレモニー:市長あいさつ、テープカット、船内見学 ○えちぜん鉄道車両を活用した福井港(本港地区)PRパネル展等 ○遊覧船による北前船洋上見学と福井港めぐり ほか		
他の会員の参考となる新しい試み			
実施にあたり苦労した点(今後他の会員が実施する上で注意する点)			
参加者の反響(参加者の声)	北前船を間近に見ることができ、大変好評であった。また、北前船と福井港遊覧見学が大変人気で、イベントを通じて多くの方に福井港の現状を理解していただいた。		
活動に対するPR内容	坂井市ホームページ、広報誌、福井新聞への記事掲載		
マスコミ等の反響	日本海沿岸の各新聞者が後援ということもあり、イベント企画の段階から、福井新聞社において事として取り上げられた。		
実施状況写真	別紙のとおり		

平成23年8月5日北前船寄港歓迎事業
入り込み客数

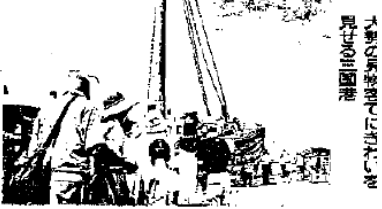
単位:人

No.	イベント名	参加人数	備考
1	洋上見学会	468	50人×9隻+α
2	みちのく丸船内見学会	1,760	
3	レンタサイクルによる観光地周遊	28	大人24、小人4
4	北前船フォーラムin三國	60	
5	北前船ゆかりの資料展示	700	
6	帯のまち流しイベント(踊り手)	80	
7	帯のまち流しイベント(参観者)	300	
8	その他一般来場者(終日)	2,000	
合計		5,396	

☆ イベント開始 7:30

☆ イベント終了 20:50

三国海洋少年団の旗幟掲揚による歓迎を受け三国港に入港する三国丸。6日午前9時、坂井市の三国港に到着した。



三国丸の乗組員が旗幟掲揚した様子。坂井市の三国港に到着した。

北前船から山崎まで日本海側の10遺跡は歴史を語る復元北前船「みちのく丸」が5日、坂井市の三国港に到着した。1986年以来、四半世紀ぶりの復元北前船だという(写真も参照)。市内外から約5400人の見学者が訪れその雄姿を大々的に堪能した。

(28面に掲載記事)

復元「みちのく丸」

三国に北前船

往時の姿再び

手旗信号出迎え

5400人雄姿刻む

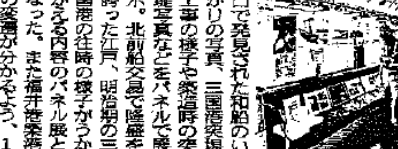


三国港は、福井新聞社「みちのく丸」の木村洋次郎船長に導かれ、市民有志でつくる復元北前船「みちのく丸」が5日、坂井市の三国港に到着した。1986年以来、四半世紀ぶりの復元北前船だという(写真も参照)。市内外から約5400人の見学者が訪れその雄姿を大々的に堪能した。

三国港は、福井新聞社「みちのく丸」の木村洋次郎船長に導かれ、市民有志でつくる復元北前船「みちのく丸」が5日、坂井市の三国港に到着した。1986年以来、四半世紀ぶりの復元北前船だという(写真も参照)。市内外から約5400人の見学者が訪れその雄姿を大々的に堪能した。



三国港は、福井新聞社「みちのく丸」の木村洋次郎船長に導かれ、市民有志でつくる復元北前船「みちのく丸」が5日、坂井市の三国港に到着した。1986年以来、四半世紀ぶりの復元北前船だという(写真も参照)。市内外から約5400人の見学者が訪れその雄姿を大々的に堪能した。



三国港は、福井新聞社「みちのく丸」の木村洋次郎船長に導かれ、市民有志でつくる復元北前船「みちのく丸」が5日、坂井市の三国港に到着した。1986年以来、四半世紀ぶりの復元北前船だという(写真も参照)。市内外から約5400人の見学者が訪れその雄姿を大々的に堪能した。

三国港は、福井新聞社「みちのく丸」の木村洋次郎船長に導かれ、市民有志でつくる復元北前船「みちのく丸」が5日、坂井市の三国港に到着した。1986年以来、四半世紀ぶりの復元北前船だという(写真も参照)。市内外から約5400人の見学者が訪れその雄姿を大々的に堪能した。

笏谷石や米俵 作業再現

川上、兵衛川上流から船荷が次々と運ばれ、船中では荷役作業が再現された。この日は午後5時、旗幟掲揚作業を終えた新川から戻った船。笏谷石や米俵の再現作業が再現された。この日は午後5時、旗幟掲揚作業を終えた新川から戻った船。笏谷石や米俵の再現作業が再現された。この日は午後5時、旗幟掲揚作業を終えた新川から戻った船。笏谷石や米俵の再現作業が再現された。

男衆荷揚げ勇ましく

笏谷石を荷揚げする三国丸の乗組員が、船中では荷役作業が再現された。この日は午後5時、旗幟掲揚作業を終えた新川から戻った船。笏谷石や米俵の再現作業が再現された。この日は午後5時、旗幟掲揚作業を終えた新川から戻った船。笏谷石や米俵の再現作業が再現された。



三国港は、福井新聞社「みちのく丸」の木村洋次郎船長に導かれ、市民有志でつくる復元北前船「みちのく丸」が5日、坂井市の三国港に到着した。1986年以来、四半世紀ぶりの復元北前船だという(写真も参照)。市内外から約5400人の見学者が訪れその雄姿を大々的に堪能した。

北前船「みちのく丸」福井港(三国港)寄港事業イベント
(実施状況写真)

